

2014

第211号

12月

## 家族サポート教室

11月22日(土)、金ケ崎町福祉センターで、社協職員を講師に総勢21名により開講しました。様々な質問や疑問などを話し合いながら、楽しく和気あいあいとした雰囲気で行なわれました。町内唯一の訪問入浴車の見学や入浴疑似体験は初めて見る方が多くとても好評でした！

# かねがさき 社福だより

主要内容

第40回金ケ崎町社会福祉大会  
ふれあい伝言板

ふれあいネットワーク

発行:金ケ崎町社会福祉協議会  
金ケ崎町西根南羽沢43 町福祉センター  
TEL 44-6060 FAX 44-6106  
Eメール kinshaky@seagreen.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www7.ocn.ne.jp/~kinshaky/>

★この広報誌は、共同募金配分金の一部をあてて発行しています★





# 第40回金ヶ崎町社会福祉大会

11月13日(木)、金ヶ崎町中央生涯教育センターを会場に、社会福祉関係者や町民約400名の参加のもと第40回金ヶ崎町社会福祉大会を開催しました。多年にわたり社会福祉の増進に寄与された功労者等の表彰を行ない、明るく活力ある福祉のまちづくりの発展を誓い合いました。

記念講演には、諏訪東京理科大共通教育センター教授 篠原菊紀氏を講師に迎え、脳トレーニングを交えた驚き！納得！笑いあり！の90分でした。



大会長あいさつ



受賞者代表あいさつ



最優秀福祉作文の朗読  
金ヶ崎保育園年長組30名のみなさんによる  
オープニングアトラクション「子ども鹿踊り」



最優秀福祉作文の朗読

記念講演  
篠原菊紀氏



**大会宣言**

- 孤立・孤独のない支え合いのネットワークづくりを進めます
- だれもが能力や経験を生かし福祉活動に積極的に参加できるような体制づくりを進めます
- だれもが世代や障がいの区別なく、自立した生活が送れるような地域づくりを進めます



会場のみなさんで  
脳トレーニング！

## 受賞者紹介

### 金ヶ崎町社会福祉大会会長表彰

社会福祉事業功労者  
多年にわたり、社会福祉の増進に寄与し、社会福祉事業の推進に貢献した方



- 冬部 ルミ 様  
森のさと施設長
- 佐々木 章 様  
共伸園主任職業指導員
- 齋藤奈津子 様  
金ヶ崎保育園保育士
- 小原 一二 様  
元横道下老人クラブ会長

### 褒賞(在宅介護者)

多年にわたり、在宅要介護者の介護に携わってきた方



小原 和子 様  
横道上行政区

### 社会福祉奉仕ボランティア功労者・団体

多年にわたり、奉仕活動に取り組み、社会福祉に貢献した個人及び団体



- 渡邊 チヤ 様  
下平沢地区ボランティア活動
- 菊地 京子 様  
配食ボランティア
- 石川 亮 様  
配食ボランティア

### 感謝状

千田 省一 様  
田三ヶ尻学童保育所として  
民家を約15年間提供

永澤小学校昭和8年入学同級生一同

- 代表 松本 吉男 様  
福祉基金寄付
- 代表 羽階 勝昭 様  
福祉基金寄付

### 金ヶ崎町社会福祉協議会メーシキヤクター入選作品

- \*最優秀作品  
かねつー  
はちやさきこ 様  
北海道江別市
- \*優秀作品  
シヤキョウマン  
小沢 孝子 様  
金ヶ崎町西根
- かねたん  
工藤 和久 様  
青森県弘前市

「共に生き、共に支え合う福祉社会の実現をめざして」をテーマに11月11日(火)、岩手県民会館大ホールを会場に第67回岩手県社会福祉大会が開催されました。岩手県の福祉向上に寄与された方が顕彰されるこの大会において、当町から次の6名の方々が表彰されました。

### 岩手県社会福祉大会会長褒賞

多年にわたり、在宅要介護者の介護に携わった個人

- 坂井キミエ 様  
川目行政区
- 有住 裕子 様  
清水端行政区
- 千葉 典子 様  
東町行政区

### 岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰

前年度11月30日において在任期間が通算12年に達した方

- 鈴木美代子 様  
矢采行政区  
民生委員
- 佐々木 郁子 様  
田園パーク行政区  
民生委員
- 宮本 幸子 様  
主任児童委員

## 第67回岩手県社会福祉大会



## 福祉作文入選者紹介



### 小学校中学年の部

**\*最優秀作品**  
大好きな金ヶ崎と  
ひっこばあちゃん



村上 大夢さん  
第二小学校4年

**\*優秀作品**  
けがをしてから



小野寺着都さん  
金ヶ崎小学校4年

### 小学校低学年の部

**\*最優秀作品**  
だいすきなおじいちゃん  
おばあちゃん



宮館 倫代さん  
西小学校1年

**\*最優秀作品**  
福祉とは



朝倉 颯大さん  
永岡小学校6年

**\*優秀作品**  
おばあちゃん、おじいちゃん  
大すき



渡邊 美樹さん  
第一小学校2年

**\*優秀作品**  
福祉体験から学んだこと



佐々木音羽さん  
三ヶ尻小学校5年

## 福祉作文最優秀作品紹介

### 小学校低学年の部

だいすきなおじいちゃんとおばあちゃん  
西小学校1年 宮館 倫代

わたしのおじいちゃんは、まいにちあさはやくから、ゆうがたくらくなるまで、たんぼのじこや、くさかりや、いろいろなじこをしています。おじいちゃんが、たんぼでおこめをそだててくれるから、おいしいごはんがたべられるんだとおもいます。

はるには、かぞくみんなでたねまきをします。おじいちゃんは、たんぼをトラクターでたがやします。たくさんたんぼを、ひとりたがやすのはたいへんそうです。まなえがおおきくなったら、たうえをします。おいしいおこめができるように、まいにちみずをみたり、くさをとったり、くすりをかけたたりするそうです。いねのびよくきと、わるいむしがつくのが、いちばんたいへんだそうです。わたしは、いねをまもっているおじいちゃんが好きとおもいます。

もうすこして、いねかりです。やすみのひに、かぞくみんなでいねかりをします。わたしは、きよねん、いねをはこぶのをつだいました。おもくてたいへんでした。でも、こしもがんばってつたいていしようとおもいます。

おばあちゃん、はたけて、いろいろなやさいをそだてています。はたけじこは、くさとりがたいへんみたくです。おばあちゃんはいつつも、こしがいたいといっているの、わたしは、こしをおしてあげたり、かたをもんであげたりします。そつすると、おばあちゃん、

「きもちがいよ。」

と、よろこんでくれます。

このあいだは、だいこんのたねまきを、おかあさんといっしょにたつたいました。だいこんのたねはともちいさくて、まくのがむずかしかったです。でも、おばあちゃんが、まきかたをおしえてくれたので、だんだんじょうずにできました。たねまきがおわったとき、

「ともちゃん、ありがと。」

といわれて、とてもうれしかったです。

おばあちゃんは、まいにち、スクールバスのていりゆうじよまでむかえにきてくれるので、うれいです。おやつもじゅんじゅんおしえてくれます。わたしのしゆくたいをみてくれて、ましがっている、やさしくおしえてくれます。

おじいちゃん、おじいちゃんもおかあさんのかわりに、ゆうごはんもつくってくれます。ときどき、わたしがすきな、おさかなもやいてくれます。

わたしは、ゆうごはんをたべたあとに、トランプをいっしょにやるのが、すこくたのしみです。

わたしは、おじいちゃんもおばあちゃんも、やさしくて、はたらきもので、だいすきです。いつまでも、げんきていてほしいです。

### 小学校高学年の部

福祉とは  
永岡小学校6年 朝倉 颯大

福祉は、今まで「福祉」ということについてあまりよく考えたことがありませんでした。「福祉」という言葉からイメージすることは、四年生のときにボランティアスクールでやった手話の学習や白杖体験などでした。五年生のときにボランティア言葉を覚えて自分でやってみることができた、白杖体験では見えないことかたいへんさを知ることができました。しかし、学んだことをどう生かすか、自分ができることは何かということまでは考えたことがありませんでした。

この前総合の学習で「福祉」という言葉を調べる機会がありました。辞典には、「多くの人々に同じように与えられるべき幸福」と書いてありました。福祉はそれを読んで、「世界全体が幸福にならないかぎり、個人の幸福はありえない」という宮沢賢治の言葉を思い出しました。祖母の家の時計に書いてあった言葉です。福祉は、世の中の人みんなが幸せになってこそ、本当の幸福なんだと思いました。

六年生のボランティアスクールでは、車いすについての学習をしました。町の福祉協議会の方が学校に来て、車いすの操作の仕方や押し方などを教えてくださいました。友達と二人組になって、交代しながら押したり乗ったりしました。車いすを押ししてみると、上り坂や段差のあるところでも、少し力を入れて押しは前に進むことができて、車いすに乗ったとき急に動き出したり段差を超えたりすると、とても怖いと感じました。そのとき福祉協議会の方が、

「車いすを押すときには、乗っている人に声をかけてくださいね。」  
と言った意味がよく分かりました。急に車いすが動き出したり、衝撃が加わったりしたら、乗っている人は驚くからです。福祉は、車いすに乗っている人の気持ちになって、一緒に進むことの大切さを知ることができました。

福祉は、今までは、毎週金曜日の朝に空き缶回収をしています。アルミ缶を集めてリサイクルに出し、貯まったお金で車いすを買って町の快老苑に贈っています。福祉は、家族で声をかけ合ってアルミ缶を集めています。福祉は、学校に行くと、車いすのほんの一部にしかならないけれど、誰かの役に立っていると思うと嬉しい気持ちになります。前に車いすを贈ったとき、快老苑の方がお礼の言葉とともにバスケットボールを持ってきてくれました。福祉は、私たちの活動が、みんなに喜んでもらっているのです。福祉は、そのバスケットボールで遊ぶたびにそのことを思い出して、また空き缶集めをがんばろうと思つたようになります。

みんなが幸せになるために、福祉は、できることは小さなことですが、これからは学んだことを生かしたり、相手の気持ちを考えて行動したりしていきたいです。そして、喜んでもらうと、福祉は、とても嬉しい幸せな気持ちになります。

### 小学校中学年の部

大好きな金ヶ崎と  
ひっこばあちゃん

第一小学校4年 村上 大夢

福祉は、しんさいの後、高田から引っこしてきました。福祉は、金ヶ崎が大好きに遊んでいます。友達もたくさんできました。福祉は、友達ともは元気がいい思い切り外で遊べます。公園に集まって、いっしょに遊ぶ友達と遊んでいます。学校は大きくなっていいです。

福祉のひっこばあちゃんは、高田のひっこせつに入っています。福祉は小さいころは、いっしょに遊んでいましたが、そのころのことをよく覚えていません。福祉は、いっしょに行くと、とてもよろこびます。方言でしゃべるので、何を言っているのかよく分からないけれど、たぶん、「よく来たなあ。」  
というよきなことを言っているのだと思います。福祉の顔を見て、ずっとわらっています。

ひっこばあちゃんは、足が自由に動きません。だから、歩く時にはいつも杖が支えてもらっています。それから、ひっこばあちゃんは、すわるのも一苦労です。しせつの人やお母さんの手をにぎって、支えてもらってゆつたり歩きます。前は、散歩や買い物にも行くことができたけど、今はあまり出かけることもできなくなり、家に帰って来て、福祉と同じくは、歩いたり、いすにすわったり、食べたりするのでも、福祉は大変で、とてもかわいそうです。福祉は、ひっこばあちゃんに金ヶ崎に遊びに来てほしいと思うけれど、なかなかできません。だから、たくさん会いに行つて元気づけたいし、歩いたり、いすにすわったりするのを手伝ってあげたいと思います。

福祉は、四年生になって、ボランティアスクールで、目の見えない人や足の不自由な人の体験をしました。車いすをおすには、とても力がいります。乗る方は、後ろや前に落ちないかとても心配でした。自分一人の力で坂をのぼるのは、無理です。だからの手伝いが必要だということが分かりました。白じょう体験は、とてもわかりました。まわりが見えないので、階たんがあと何たんか、前に何があるのかわからなかったから、だから、かい助する人が声をかけてくれると、とても助かりました。不安が小さくなりました。

ひっこばあちゃんも、足がうまく動かなくて、とてもかわい思いをしているのだと思います。自分の力では、どうしようもないことがいっぱいあって、たくさん助けがほしいです。福祉にもできることを手伝って、たくさん声をかけてあげると、ひっこばあちゃんも不安も小さくなるだろうと思います。

いっしょに遊ぶ友達も、福祉の大好きな金ヶ崎に来てもらい、車いすで、大きくなっていい学校やいっしょに遊んでいる公園を案内したいです。車いすを福祉が



## スノーバスターズ ボランティア募集

金ケ崎町スノーバスターズでは、高齢者・障がい者のお宅と一緒に除雪活動を行っていただけるボランティアを募集しております。住みやすい地域にしていくため、冬場の運動のため、あなたも活動に参加してみませんか？屋根の雪降ろしなどの難しい作業は行いませんので、気軽にご参加下さい。

金ケ崎町スノーバスターズ活動日

午前9:00～12:00

- ①平成27年1月11日(日)
- ②平成27年1月25日(日)
- ③平成27年2月8日(日)
- ④平成27年2月22日(日)



※参加者把握のため、希望する実施日の4日前までに参加のご連絡をお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞ ☎44-6060(ボランティア担当：榊)

## 寄付の報告

平成26年9月2日～平成26年12月1日

### ♥社会福祉協議会福祉基金

|                |          |
|----------------|----------|
| 親友会 会長 小野寺ツル 様 | 30,000円  |
| 金ケ崎高等学校母親委員会   | 20,000円  |
| 渡 辺 英 喜 様      | 30,000円  |
| 匿 名            | 10,000円  |
| 阿 部 和 一 様      | 20,000円  |
| 金ケ崎保育園 様       | 5,000円   |
| 佐 藤 正 様        | 6,000円   |
| 田 口 恵 子 様      | 100,000円 |
| かみしも結の会 様      | 53,350円  |



会員や地域住民に協力を呼び掛け、自宅に眠っている様々な物を集めて「掘り出し市」を開催。売上金を寄付して下さいました。

## ふれあい食事サービス 交流会

金ケ崎町社会福祉協議会では、配食、調理ボランティアの協力のもと、毎週火・金曜日に、食事を作ることが困難な高齢者世帯や、独り暮らし世帯等へ昼食をお届けする配食サービス事業を行っており、今年で22年目となります。

12月4日(木)、福祉センターで食事サービスの利用者ボランティアとの交流会が行われ、25名が参加しました。

ボランティアを代表し、佐藤恭仁子さんから「10年後もボランティアを元気に続けていたい」と心強い挨拶をいただき、続いて利用者を代表し、桜ツナ子さんから「いつも楽しみにしている、本当にありがたい」と感謝の言葉をいただきました。

配達するお弁当では味わえない、お刺身や鍋を大勢で囲みながら、社協ダンスチームによるダンス、カラオケや踊り、皆で手を繋いで合唱など、楽しく温かい時間となりました。



よろしくお祈いします！

金ケ崎町社会福祉協議会  
イメージ・キャラクター  
かねっぴー

金ケ崎町社会福祉協議会をイメージして、子供からお年寄りまで、多くの方々に親しみを持っていただけるようキャラクターを作りました！一目で金ケ崎町社会福祉協議会のキャラクターであることがわかるように「ふれ愛・ささえ愛・みとめ愛・まなび愛」を表現したハートの帽子には町名が記され、町の花さつきが輝いています。おなかには社会福祉協議会のロゴが描かれ、明るく、元気いっぱい、福祉の大切さをPRしています！

## 傾聴ボランティア養成講座 in 江刺区

- 目的…人とのつながりが希薄化している現代社会においては、ひとり暮らし高齢者等をはじめとして、身近に話を聞いてくれる人がいない等の理由により、生活上の悩みや不安、寂しさを抱えている方が増加しています。この様な経過から、人の思いや気持ちに耳を傾け、共感する「傾聴ボランティア」への需要が高まってきました。そこで、本講座では、心の声を「聴く」ことの大切さについて改めて認識し、傾聴活動を行うために必要な心構えや基礎知識、技術等を学びます。また、地域や施設等において「傾聴ボランティア」として活動する人材の養成を目的に開催します。
- 主催…傾聴ボランティアおうちゅう ○共催…江刺ボランティア連絡協議会
- 後援…奥州市社会福祉協議会ボランティア・市民活動センター
- 開催日時…平成27年2月5日、12日、19日、26日、3月5日(木曜日)午後1時～午後5時 全5回
- 開催会場…江刺総合コミュニティセンター 会議室等(ヒロノパーク内)(奥州市江刺区岩谷堂下惣田290-1 / ☎35-8121)
- 講師…傾聴ボランティアもりおか 会長 藤原 一高 氏
- 講座内容…基礎内容の講義のほか、ロールプレイ(役割演技)による実習等を行います。
- 受講対象者…傾聴ボランティア活動に興味のある方、傾聴について学びたい方
- 受講定員…30人 ○受講料…テキスト代 2,500円 ○受講証の発行…全講座を受講した方には、当会より受講証を発行します。
- 申し込みについて…奥州市社会福祉協議会各支所にある申込書に記載されている提出先に、直接持参するか又はFAXで送付願います。
- 提出期限…平成27年1月22日(木)正午まで。